令和８年度　日本橋中学校のあゆみ
―結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について―

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

１　全国学力・学習状況調査

※英語はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（CBT＝Computer Based Testing）で実施。

学年		生徒数（人）	平均正答率（%）		平均無解答率（%）		平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学	(参考)英語３技能
３　年	学校	63	57	43	9.2	19.5	483
	大阪市	-	60	55	5.4	11.4	499
4月23日	全国	-	63.9	57.0	4.9	10.4	499

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。
　この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。
※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について

成果と課題

【成果と課題】
＜国語＞　※対全国比
〇「学習指導要領の内容」「評価の観点」「問題形式」における各区分の平均正答率について、-1.5から-15.9と下回った。「学習指導要領の内容別正答率」における「情報の扱い方に関する事項」の項目では、大阪府平均と比較して+1.1と上回った。
〇無回答率は、全国平均と比較して－4.3であった。

＜数学＞　※対全国比
〇「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」における各区分の平均正答率について、-8.1から-17.6と下回った。特に図形と関数の項目については、大きく下回った。
〇無回答率は、全国平均と比較して－9.1%であった。

<英語>
〇「学習指導要領の領域」「問題形式」における各区分の平均正答率について、-4.2から-16.0と下回ったが、「評価の観点」においては、+1.5から+12.5上回った項目もある。記述式の回答問題に課題がみえる。
〇無回答率は、全国平均と比較して－3.1%であった。

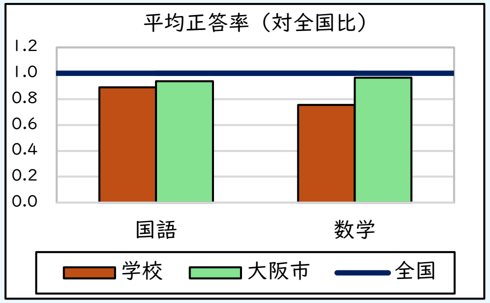
今後に向けて

国語の「書くこと」「記述式」の課題改善に向けて、生成AIによる作文の構成支援や情報収集を行うことで語彙力・構成力を高める。また、がんばる先生支援事業の実践校として、模範授業や研究発表等を通して教員の指導力向上にも取り組む。数学は、低学力層および基礎学力の向上について、小中連携して課題改善に向けた取組を進める必要がある。英語においても、生徒が主体的に学びを深めようとする授業改善の工夫をさらに研究・実践する必要がある。
本年度「非認知能力の育成」にかかる教職員研修を充実させ、生徒の関心・意欲を向上させるよう、教員の資質向上にも努める。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要（国語・数学）

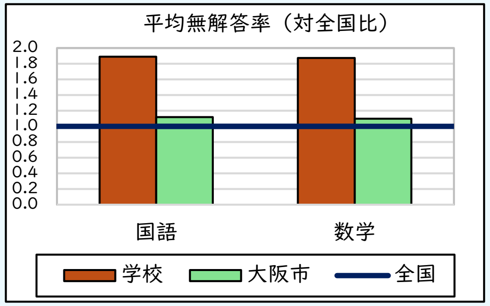
平均正答率（%）

	国語	数学
学校	57	43
大阪市	60	55
全国	63.9	57.0



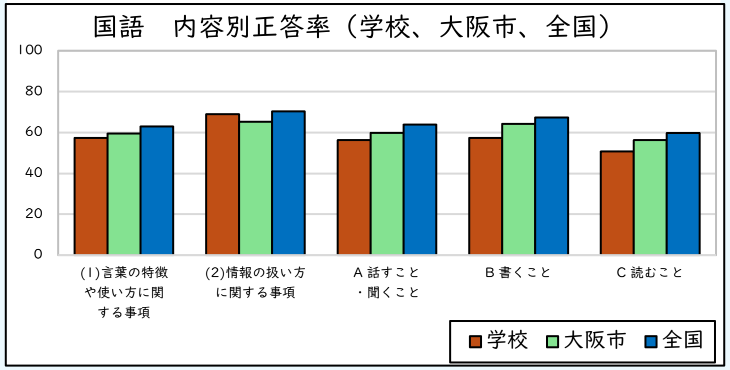
平均無解答率（%）

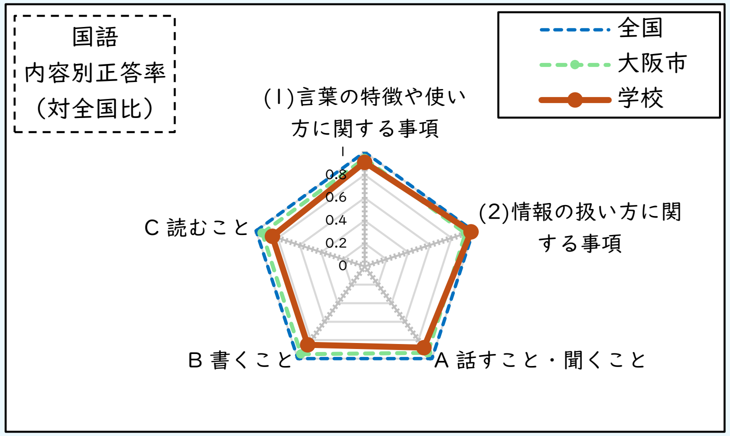
	国語	数学
学校	9.2	19.5
大阪市	5.4	11.4
全国	4.9	10.4



【国語】内容別正答率

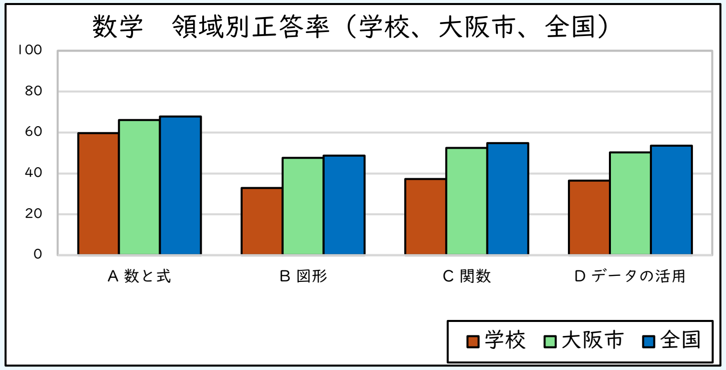
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	57.4	59.5	63.0
(2)情報の扱い方に関する事項	1	68.9	65.3	70.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	56.3	59.9	63.9
B 書くこと	3	57.4	64.2	67.4
C 読むこと	3	50.8	56.3	59.7

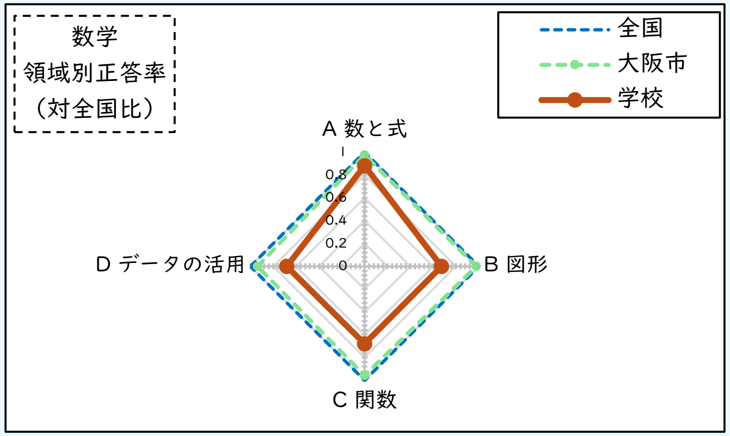




【数学】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	59.7	66.1	67.8
B 図形	4	32.8	47.6	48.7
C 関数	3	37.2	52.5	54.8
D データの活用	4	36.5	50.2	53.5



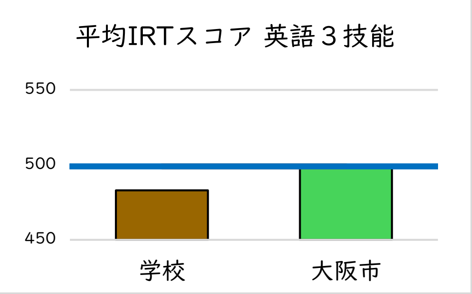


令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要（英語）

英語　平均IRTスコア

学校	(483)
大阪市	(499)
全国	(499)

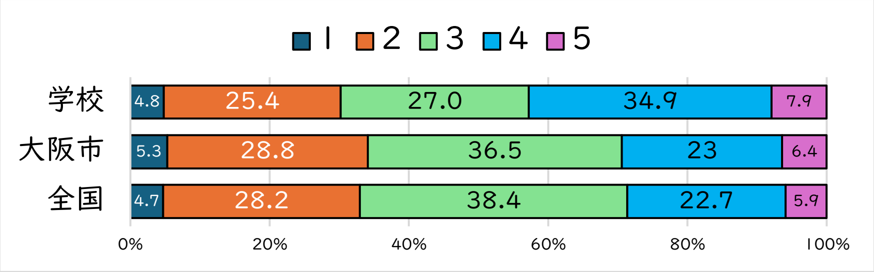
※（参考）３技能の平均IRTスコアです



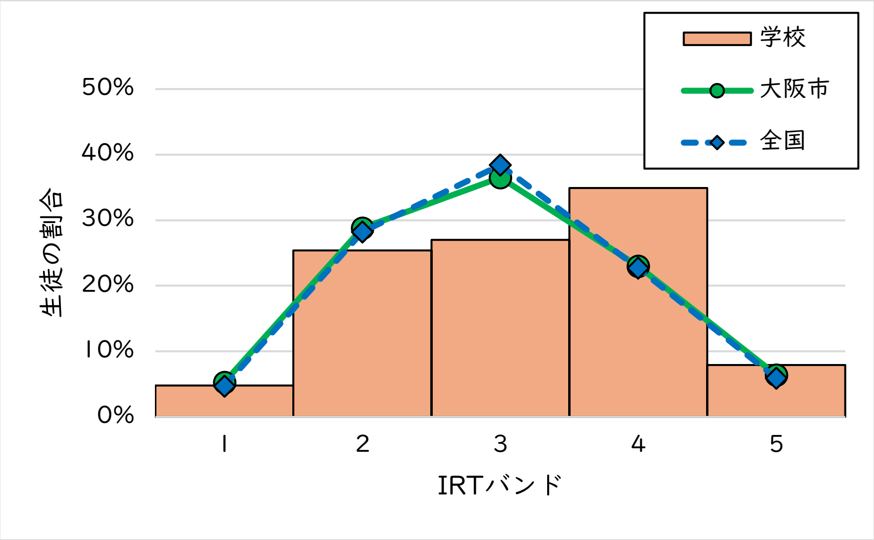
	IRTバンド分布比較（３技能）				
	1	2	3	4	5
学校	4.8	25.4	27.0	34.9	7.9
大阪市	5.3	28.8	36.5	23	6.4
全国	4.7	28.2	38.4	22.7	5.9

※３技能のIRTバンド分布です

IRTバンド分布比較（３技能）



IRTバンド分布グラフ（３技能）



【IRT(Item Response Theory：項目反応理論）とは】

児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力に よるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

【IRTスコアとは】

IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

導入する年（中学校英語は令和８年度）の全国平均を基準値とし、経年比較が可能な形で算出します。

【IRTバンドとは】

IRTスコアを１～５の５段階に区切ったものです。３を基準のバンドとし、５が最も高いバンドとなります。

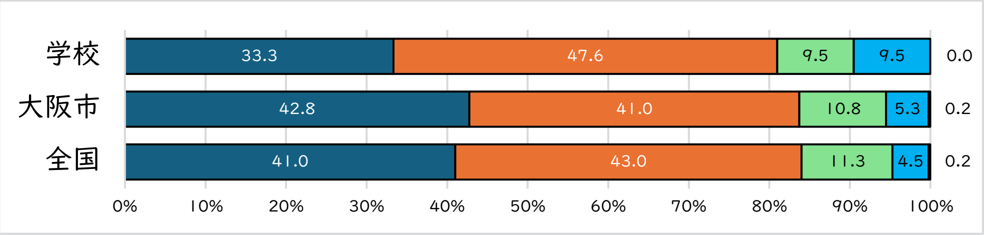
※IRTスコア・IRTバンドは、難易度の高い問題にしていると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。

生徒質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

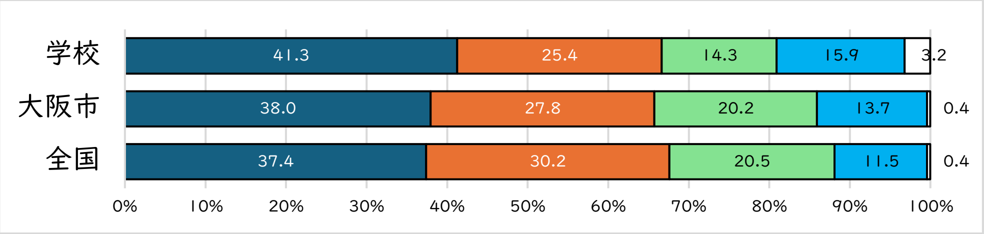
■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号	質問事項
（8）	自分には、よいところがあると思いますか



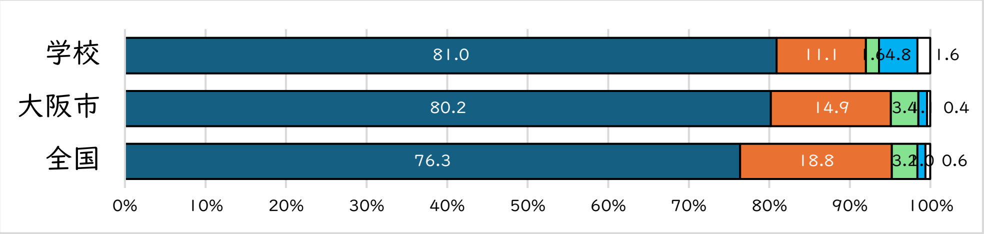
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

質問番号	質問事項
（10）	将来の夢や目標を持っていますか



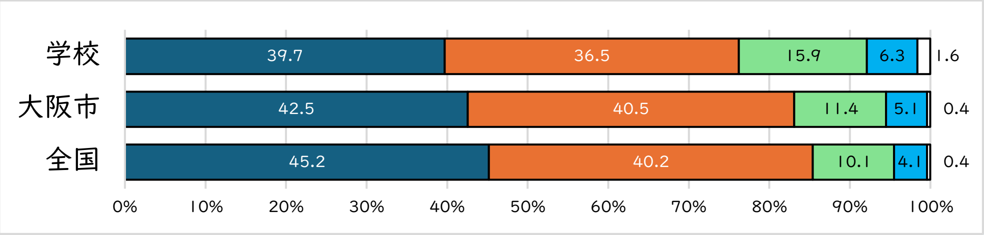
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

質問番号	質問事項
（12）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



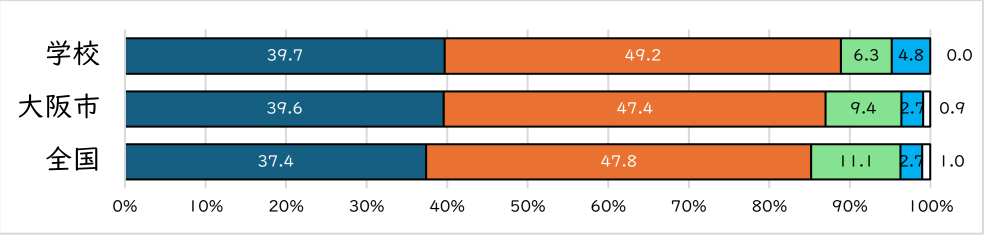
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

質問番号	質問事項
（45）	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

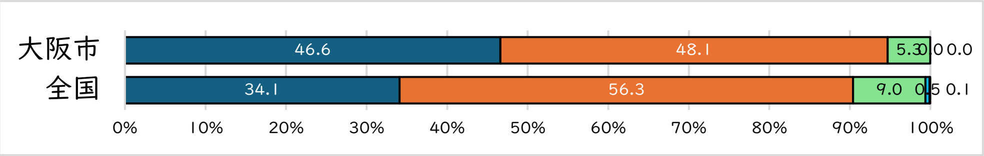
学校質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 □その他・無回答

質問番号	質問事項
(9)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか

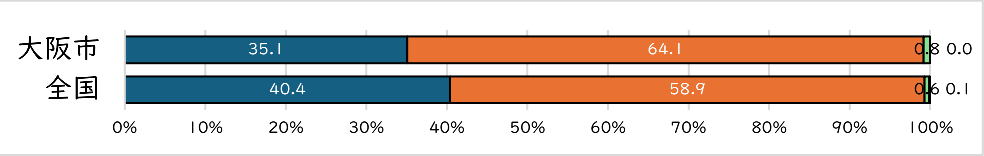
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

質問番号	質問事項
(16)	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

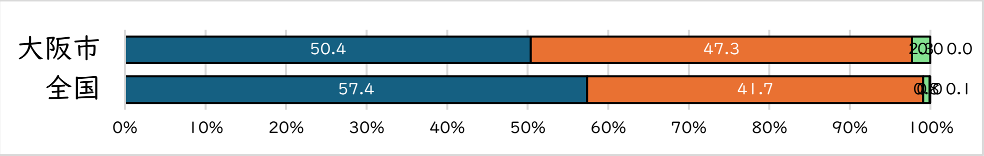
【学校の回答】　2　一部取り入れている



1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

質問番号	質問事項
(19)	学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員（支援スタッフを含む）の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

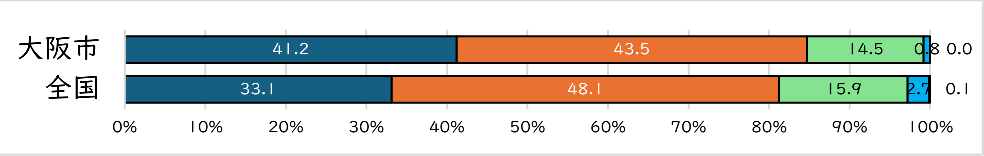
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

質問番号	質問事項
(24)	生徒にとって、学校施設全体として、生徒が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

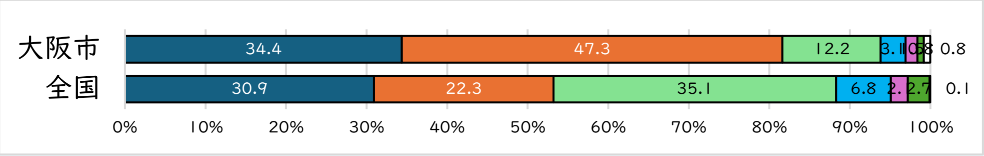
【学校の回答】　1　そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

質問番号	質問事項
(75)	生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

【学校の回答】　1　毎日持ち帰って、毎日利用させている



1 毎日持ち帰って、毎日利用させている
2 毎日持ち帰って、時々利用させている
3 時々持ち帰って、時々利用させている
4 持ち帰らせていない
5 持ち帰ってはいけないこととしている
6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている